

平成30年度 第1回八幡浜市総合教育会議議事録

1 日時

平成30年11月28日(水) 13:00～14:15

2 場所

八幡浜市役所八幡浜庁舎5階第3委員会室

3 出席者

(1) 構成員

大城一郎市長、井上靖教育長、菊池誠教育委員、小野巖教育委員、
上田純子教育委員、泉俊也教育委員

(2) 構成員以外の出席者

副市長、総務部長、総務課長、総務課長補佐、
教育指導主幹、学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課長補佐

4 市長あいさつ

本日の会議は、議題が3つある。時間の許す限り意見交換を行いたい。

5 議事

(1) 教育大綱の改定について

【事務局】

基本的に現大綱を尊重している。改正点を申し上げる。

・目標設定について

「自ら進んで行動できる人の育成」→「自ら進んで行動する人の育成」

「よりよい人間関係を築くことができる人の育成」→「他者と共によりよく生きようとする人の育成」

「自ら課題を発見し解決する人の育成」→「自ら課題を発見し解決しようとする人の育成」

「人を思いやる心をもった人の育成」→「思いやりの心をもった人の育成」

「社会に貢献できる人の育成」→「社会に貢献しようとする人の育成」

・基本方針と施策について

「文化芸術体験事業の提供」→「文化芸術体験事業の充実」

「幼(保)・小・中の交流・連携の推進」→「幼(保)・小・中・高の交流・連携の推進」

「教職員研修の充実」→「教職員の指導環境の整備」

「<注1>食育の推進」→「食育の推進」

「チャレンジ精神に富む社会人を育てます。」→「チャレンジ精神に富む浜っ子を育てます。」

「切磋琢磨できる教育環境の実現」→「集団で高め合う教育環境の実現」

「学校のICT環境の整備」追加

「学校の耐震化」削除

「空調・ブロック塀・トイレ等の整備」追加

「学校生活支援員の拡充」→「学校生活支援員の適正配置」

「<注3>三層情報還流方式の継続」→「<注3>三層情報環流方式の継続」

「幼(保)・小・中の円滑な接続」追加

「芸術文化事業の充実」→「文化芸術事業の充実」

「社会教育(体育)施設の整備」→「社会教育の充実と施設の整備」

・用語の解説について

「<注1>食育」削除

「<注6>教育支援室」

「SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)、ミュージック・ケア(音楽療法)、
にこにこみかんトーク(保護者座談会)などの実施のほか」追加

【教育長】

基本方針と施策の1番、幼(保)・小・中の交流・連携の推進に、新たに高校を加えた部分があるが、高校3校は、これまでも研究発表など、小中学校との連携に取り組んでいる。そういった交流をさらに大事にしていきたい。

【市長】

教育大綱の改定について、原案のとおり決定してよろしいか。

【全委員】

異議なし。

【市長】

原案のとおり決定する。

(2) 小中学校の統廃合について

【事務局】

資料に沿って説明する。

①八幡浜市学校再編整備第二次実施計画(概要版)

再編対象の学校

平成31年4月1日 川上小学校・神山小学校の統合、双岩小学校・神山小学校の統合

平成32年4月1日 真穴中学校・八代中学校の統合

平成34年4月1日 松柏中学校・八代中学校の統合

②小学校児童数・中学校生徒数推計

児童・生徒数は、昭和40年に比べて現在約5分の1に減少し、今後も減り続けることが予想される。

③八幡浜市の学校統廃合の状況

平成17年度からの状況説明

④学校統廃合に関するこれまでの進捗状況

真穴中学校 5月・10月に保護者説明会を実施

双岩小学校 5月・10月に保護者説明会を実施

川上小学校 8月に保護者説明会を実施

松柏中学校 6月・11月に保護者説明会を実施

⑤愛媛県内11市小学校児童数・中学校生徒数一覧表

児童・生徒数が40人以下の学校は、交通が極端に不便な離島や山間部、平成の合併で統合された旧町村のいずれかに位置している。

本市の再編対象となっている小中学校は、県内の状況からすると、それほど不便な場所にあるわけではなく、標準的に考えると、再編の対象とすることは妥当な判断であると思われる。ただし、どの地域においても、統廃合によって地域から学校がなくなることは、住民にとって、なかなか割り切れることではないと思われる。

【小野委員】

青石中学校と保内中学校が統合されて2年目となる。当初は統合に不安もあったが、これからの中学校の再編を考えると、保内中学校の経験からしても、大勢の中でいろいろなことを学ぶことは大事であると思う。

【菊池委員】

小学校はお祭りとか地域とのつながりが多いので、今後はそういうところへの対応、例えば川上地区の祭りの時はどうするのかという細かい対応が必要になってくると思う。そういうところもサポートできるとよりスムーズに統廃合も進むと思う。

【市長】

そのことについては、実際には難しいと思う。

【菊池委員】

やはり伝統文化でもあるので、何かしら対応できる方法があればと思う。

【市長】

そのあたりどうか。特に川上地区では柱松でお神楽をしている。そうした伝統文化が継承しづらくなってきているが、統廃合したのちに大きなところでその地域の伝統文化をみんなで勉強しようという形になれば、かえって統廃合した方が伝統文化は保存しやすくなるということも出てくるのではないか。

【教育長】

双岩ブロックでずっと行ってきた「竹の子の集い」という行事は、主催する双岩のいじめ対策委員会がなくなって八代ブロックと一緒にになったのだが、双岩の子どもたち以外に八代の子どもたちも参加するという形で継承している。

川上のお神楽については、具体的に継承していくのは地域であるが、統合した学校の総合的な学習の中で、川上のお神楽を勉強したいというグループが出てきてもおかしくはなく、地域で継承したものを学校の中で全児童に披露したりする場はつくれると思う。

【市長】

地域の伝統行事を残すという観点から、特別授業というようなことでできるのではないか。

【教育長】

松柏中学校では、千丈地区の唐獅子と高野地地区の神楽を、子どもたちは3年に1回ぐらいの周期で習って文化祭で発表している。そのへんは学校との話し合いが必要に

なってくると思う。

【小野委員】

川上地区の場合は、文化的な要素も大事かと思うが、地元の方のもっと強い思いがあると思う。例えば南予の農業、後継者、移住、子育て問題等、総合的に考えていると思う。統廃合は、保護者の方が奮起しなければ、地元の方では難しいと思う。

【市長】

県内11市の小中学校の児童・生徒数を見てみると、40名以下の学校は、交通が極端に不便な離島や山間部、あるいは平成の合併で統合された旧町村に位置している。そうでない学校は、八幡浜市（川上・双岩小学校、真穴中学校）だけである。この状況については問題があると思う。

教育大綱の基本方針と施策の中でも、集団で高め合う教育環境の実現ということをしかりと明記して押し出していこうとしている。そうした中でこの数字を見たときに、小中学校の統廃合をどうするかということ、全体を捉えてもう一度考えていかなければならないと思う。

子どもが増えるようであれば、また学校を再開するというのも一つの手だと思う。統廃合してそれで終わりではない。昔は人口が増えて新しい学校をつくっていった。今、人口が減ってきているのであれば、統廃合を進めて、子どもたちにより良い環境をつくる。時代に合わせた学校環境の在り方というものを、丁寧に親御さんや地域に説明していくということは大切ではないかと思う。

【上田委員】

新居浜市に若宮公民館と惣開公民館がある。その小学校が統合をした。その時に、地域の方や公民館関係者は大反対であったが、子どものことを考えたいという保護者に引っ張られる形で統合した。心配されたそれぞれの公民館の文化祭は、双方のPTAの方が一緒になって今まで以上に公民館祭りを盛り上げた。その結果、当初、統合に反対だった公民館関係者も大変喜んだという話を聞いた。

やはり地域の方は学校をなくすことに反対だろうと思う。保護者も重大な決断をすと思うが、子どものためにとということを見据えたら、より良い判断ができるのではないかと思う。

【泉委員】

松柏中学校の説明会の後、小学生の保護者が、部活動の選択肢がないと驚いていた。中学校生活は部活動が全てではないが、子どもたちには充実した学校生活を送ってもらいたい。

【教育長】

川之内地区公民館まつりのもちつきには、千丈小学校の職員が参加をしている。バザーのお手伝いは、松柏中学校区の子どもたちが担当している。統合前も統合した後も、川之内地区公民館まつりに学校がどのように関わっていけるのかというソフト面を大事にしていかなければならないと思う。

【市長】

いろいろご意見をいただいたが、平成31年度に向けての統合計画を確認しておきたい。

【事務局】

ご存知のように学校の統廃合は行政が勝手に進めていくわけにはいかない。住民の賛同を得るために説明をして同意してもらう手続きが必要なので、平成31年度統合の計画については、予定通りというのは難しいと事務局では感じている。

説明会の中でも、平成31年度に行うことができなかつたらどうするのかという質問をいただく。その際には、計画の中身は変わらないので、もう1年遅らし、2年遅らしということになるかもしれないが、引き続き説明をさせていただくと答えている。

【市長】

八幡浜市総合教育会議の総意として、今後も粘り強く地元と協議をしていく。よろしく願います。

(3) 小中学校への空調設備の設置について

【事務局】

資料に沿って説明する。

①空調（冷房）設備設置状況調査票

- ・小学校 普通教室96部屋 エアコン設置3部屋（特別支援学級）
特別教室150部屋 エアコン設置18部屋（コンピュータ教室）
- ・中学校 普通教室34部屋 エアコン設置2部屋（特別支援学級）
特別教室134部屋 エアコン設置17部屋（コンピュータ教室）

②事業概要調書

- ・事業費526,148千円

③臨時特例交付金に関する説明会資料（文科省HP抜粋）

- ・小中学校の空調設備の設置率は、全国49.9%、愛媛県31.3%（体育館0.9%）

④中央官庁だより、⑤報道資料

- ・国の予算編成等の状況説明

【小野委員】

災害時に学校が避難場所になる場合があるが、教室ではなく体育館を使用することになる。今回の事業で、簡易的な大型の空調機器というかそのあたりも対応できないのか。

【事務局】

今回の事業の補助対象は、普通教室と主要な特別教室に限定されている。体育館は対象になっていない。

【市長】

中学生の体育館使用については、夏の部活動時の空調も心配される。災害時と併せて、今後は、そういったことも考えていきたい。

【市長】

他にないようなので、空調設備の設置については、計画通り進めていく。

(4) その他

【小野委員】

合併して13年になる。これまで以上に市の花や木、市章の広報、市誌の活用を要望する。

【菊池委員】

統合された小・中学校について、沿革等をまとめてホームページで残してはどうか。また、校歌について、母校の校歌は時々聞きたくなる時があると思う。ホームページで聞けたらいいなと思うので要望する。

【泉委員】

八幡浜の子どもたちは、地元の柑橘や魚の種類とかをどれだけ知っているのか心配している。例えば、新入生に広報啓発の学用品（下敷き）を配るのはどうだろうか。要望する。

【小野委員】

いろいろな会に出ていろいろな資料をもらって帰るが、かなりの量になる。会議でのペーパーレス化等の検討を要望する。

【事務局】

委員のみなさんには、長時間にわたって貴重なご意見や慎重な審議をいただいた。感謝を申し上げます。

閉会